79 スマート水産業推進事業

【令和4年度予算概算決定額 41(147)百万円】 【令和4年度予算概算決定額(デジタル庁計上) 447(407)百万円】 (令和3年度補正予算額 1,300百万円)

く対策のポイント>

資源評価の高度化のため、生産現場の事務的な負担軽減にも資する**漁獲情報の電子的情報収集体制を構築**するとともに、収集するデータの標準化等を 行います。

<事業目標>

- 主要な漁協・市場からの水揚げ情報を電子的に収集する体制を整備(400箇所以上 [令和5年度まで])
- TAC魚種の拡大(漁獲量ベースで8割「令和5年度まで」)

く事業の内容>

1. スマート水産業システム整備推進事業

① 漁獲情報デジタル化推進事業

牛産現場の事務的な負担を軽減しつつ電子的な報告を可能とするためのシステムの構 築等を実施します。

② 数量管理システム強化事業

TAC魚種、国際資源等の漁獲情報の収集・分析等に係るシステムの維持・管理、 T A C 魚種の拡大や大臣許可漁業への I Q導入に対応したシステム改修等を実施します。

2. スマート水産業推進基盤活用推進事業

データの取扱いや利用方法等を定めるガイドラインやデータ標準化の充実、画像データ利 活用のための画像処理技術の開発等を実施します。

<事業の流れ>



玉

民間団体等

(1、2の事業)

く事業イメージン

スマート水産業の推進

水産資源の持続的利用のための取組

<目的>資源評価・資源管理の高度化

- ・資源評価の精度向上、資源評価対象魚種の拡大、適切な数量管理の実現、資源管理 の徹底
- 1. スマート水産業システム整備推進事業

水産業のスマート化を推進するため以下の事業により、関連するシステムの一 体的な整備等を実施します。

- ① 漁獲情報デジタル化推進事業
- ・産地市場・漁協からのデータ収集体制整備に向けた国のシステムの構築等を 実施
- ② 数量管理システム強化事業
- ・TAC魚種及び国際資源に係る漁獲情報の収集、情報システムの保守管理 TAC魚種の拡大や大臣許可漁業へのIQ導入に対応した改修等を実施
- 2. スマート水産業推進基盤活用推進事業

データの取扱いや利用方法等を定めるガイドラインやデータ標準化の充実、画像処理技 術の開発等を実施します。

> 水産業の成長産業化 に向けた取組

[お問い合わせ先] (1①、2の事業) 水産庁研究指導課 (03-6744-0205)

(12の事業)

管理調整課 (03-5510-3303)

国際課 (03-6744-2364)